

# るり光

No.169 2025. 3

発行 真言宗豊山派  
北田山寶泉寺  
所沢市北岩岡130  
編集 色摩真了  
ホームページアドレス  
takaranoizumi.com

じごくへおちてもらいます

## どんなじごくへいくのかな？ 展

所沢市はサクラタウン内の角川武蔵野ミュージアムに出かけてきました。

目的は「どんなじごくへいくのかな？」展（令和7年5月6日まで開催）。12人の子どもたちが「自分の周りにいる地獄へ行くべき人」そして、「その人が行く地獄の内容」を考え、形にした作品が展示されているという何だか少し恐ろしい企画展です。

例えば、「怖いゲーム地獄」は、お母さんに怒られてもゲームをやめない人が落ち、様々なモンスターに襲われます。刑期は1000年。また、「こちょこちょ地獄」は、寝ている人をこちょこちょした人が対象で、そこでは寝ようとしても様々な邪魔が入ります。この辺りは子どもならではの発想で少しかわいい気もしますが、「サーカス地獄」は人が苦しんでいるところを少しでも喜んだ者が落ち、今度は自分が苦しむ地獄。また「全部ハート地獄」は好きな人のことばかり考えていて仕事をしない人が鬼に食べられ続ける地獄で、この二つは特にドキッとさせられました。

仕掛け人の現代美術家・山本高之氏いわく、企画の意図は「子どもの世界観」の理解と、ネガティブな感情から目をそらさずに表現することで他の感情に昇華させる「創造的表現の価値」にあるそうです。

子どもの発想の面白さに触れたい方。また、地獄についてより深く考えたい方にはおすすめです！



展示場の様子

# 檀信徒のおつとめを読む⑬



## 13. 先祖供養 (p18)・廻向文 (えこうもん p19)

廻向とは「巡らす」の意。「先祖供養」では「廻向〇〇」のように供養したい方のお名前(戒名)を入れて唱えます。

「廻向文」の書き下しは「願わくばこの功德を以て普く一切に及ぼし我らと衆生と皆共に仏道を成ぜんことを」。これまでおつとめしてきた功德を、自分とは直接関係のない全ての存在に巡らします。例えば、戦争や災害に苦しんでいる人。例えば、病気やケガで苦しんでいる人。世界には様々な苦しみがあります。もちろん私たちひとりひとりもそれぞれの苦しみ悲しみを抱えています。そんなあらゆる痛みに対して思いを馳せますというのがこのお経の趣旨です。

さて、長く続いた「檀信徒のおつとめを読む」ですが、ひとまずこれで一区切り。次回は総まとめをしたいと思います。

廻向文  
願以此功德  
我等與衆生  
皆共成仏道  
普及於一切

## 庭儀曼茶羅供法要厳修

真言宗は特に儀式や作法を重んじる宗派ですが、その中でも最高峰といわれる「庭儀曼茶羅供法要(ていぎまんだらくほうよう)」に出仕しました。

厳修日時は令和7年3月6日。会場となったのは川越のお隣、川島町の名刹「廣徳寺」。

約30名の僧侶が普段身に着けることのないお袈裟を被着し、ノンストップで5時間を超える法要を無事成し遂げました。「曼茶羅供」はその名の通り元々は曼茶羅の開眼のために行われていたそうですが、現代ではほとんど執行されることのない法要。本当に素晴らしい経験となったことはもちろん、改めて「儀式」の持つ力を実感したのでした。



# 老僧のつばき ②②

## SDGs

寶泉寺は江戸時代、今から 300 年ほど前に武蔵野新田開発により農業集落の成立とともに建立され、今に至るまで周りの地域社会とともに営みを続けています。江戸期、当地は幕府直轄地そして東側に数百疔も行けば川越藩「三富」、境には農道が敷かれ雑木林に包まれていました。今では富岡の軽井沢など表現もされるような味わいある小径です。SDGs は直訳すれば「持続可能な開発目標」とされ、世界的な目標でもあります。近隣での日常の暮らしや農業経営には歴史的に雑木林は不可欠のものであり、現在では循環型農業遺産としての認定もされています。思えば当山や周りの地域はまさに SDGs を地で行くような存在とも言えましょう。SDGs にかなうような 300 年間にわたる地道な発展を継続していたといっても過言ではありません。

しかしこの数年雑木林の開発が止まらず、上記の小径隣接の山林は切り開かれ「売り地」の看板が立てられています。駅近のタワーマンションや郊外の小規模宅地開発も売れるから造るという需要と供給の経済原則だけで語るわけにはいなくなっている現状です。少子化も予測以上の早さで進み、空き家の増加も社会問題化している現在、とくに小僧(しょうそう)にはそう思えてなりません。

さて寶泉寺にはまさに 300 年前から続いている山林が現存しています。この山林も寶泉寺護持には重要なものであったとえます。古い話になりますが現大師堂は茅葺きのお堂で、瓦葺きへ改修の際にこの山林の木をマキにして販売、その重要な財源となりました。また山林の落ち葉はお檀家の農家の方々が掃き集めて堆肥にしました。そしてその料金が納められたこと、また椎茸の原木として、あるいは造園の植木としても売られ、これらは昭和の最後ぐらいまで続きました。

時は移り今では近隣の山林は存在価値を失った感が否めない状況ですが、この山林は寶泉寺所有のもので寶泉寺が存続する限り所有は可能ですので、できる限りの保存に務めたいと思っています。毎年の夏季には下草刈り、冬季には木を伐り世代交代を継続して行い、管理に務めているところです。植物環境も良いようで春、秋には今では稀少植物ともいえる花が咲いています。お墓参りの際などにどうぞ足を踏み入れて見て下さい、可愛い花々に出会えるかもしれません。

## 今年も雑木林の作業に お手伝いいただけませんか！

4月4日（金）、午前9時からお昼まで。  
こちらで昼食を用意しておきます。

6年目になりました。作業服、タオル、軍手など、あればノコギリ、ナタなどもお持ちください。お手伝い願える方はぜひお知らせください。

☎04-2943-2467

ここ数年地元の「梶原造園」様に人員と機材を無償で提供をいただいております。おかげさまで効率のいい作業が出来ていることもあわせてお知らせ致します。

# 護摩法要

日時：3月21日 14時開始

会場：寶泉寺大師堂

煩惱を焼き払い、私たちの願いを仏様に届けるために行うのが護摩法要。皆様の願いが書かれた護摩木をお焚き上げしますので、ご希望の方は大師堂にてご記入ください。法要の開始直前まで受けつけています。もちろんご参列も大歓迎！



## 花まつり

日時：4月6日、7日、8日 10時～15時

会場：寶泉寺 本堂

誕生仏をまつる花御堂



4月8日はお釈迦様のお誕生日で、お祝いの行事を花まつりと呼びます。

今年も3日間にわたり本堂を開放し、6、7日は堂内で腕輪念珠が作れるよう準備しています（8日は不在ですm( )m）となたでもお気軽にお参り下さい。念珠はお一人につき一つまでは無料です。

## 編集後記

- ・知人の「忘れない」ではなく、「知って欲しい」との書き込みを見て、その土地を、歴史を、文化を、人を、「忘れない」ことはもちろん、より深く「知る」ことが大切なのだなど、震災の日に大船渡の惨状を見ながら思う。
- ・掲示板に月例会のお知らせがあります。皆さんお気軽にお運びください（真了）
- ・自然災害が続いている。大船渡では山火事。テレビ放映を見ると避難所の待遇はテントが用意されて改善されていた。そして大震災ボランティアに参加したことを思い出した。体育館の床にごろ寝、一人分のスペースが、カラーテープで指示されていた。体の上下、左右には人が寝ているのである。睡眠薬をたよりに眠りに入った。今のボランティアの処遇はどうだろうか？ 気になった。（琴） Mar. 11. 2025